コロナ禍における「貧困・孤立・孤独」を「つながり」と「応援」で立ち向かう 草津市社協魅力活動

~「ありがとう」に勇気づけられたのは私たち市社協です~



令和3年4月1日~令和4年3月31日 社会福祉法人**草津市社会福祉協議会**

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちは当たり前にあった人と人との交流を遮断することが求められました。しかし、今までは、暮らしを揺るがす問題や地域での課題が発生した時、私たちは、「人と人とが出会い、手を取り合い、寄り添い、支え合う」ことで問題の解決を図ってきました。

コロナ禍では、孤立・孤独・貧困はさらに深刻となり、これまでにも増して、助け合い活動が必要となっており、多くが感染症予防の観点から見直しを余儀なくされていますが、期せずして、つながり、支え合うことの意義や価値を再認識する機会にもなりました。

そこで、感染予防をしながら「できること、できる方法」を生み出し、地域福祉の本領を発揮する時だと前向きに取り組んできました。草津市社会福祉協議会は、暮らしをまもる福祉の原点に立ち、コロナ禍により急増した生活課題への対応策と、新たなアイデアや工夫をいろいろな関係機関・幅広い分野と連携し、コロナ禍でも地域の福祉活動の歩みをとめないための具体的活動を実施してみました。

その活動で生まれた「<mark>ありがとう」「人を思う気持ち」を「感謝」という気持ちでこの報告書をまとめました。</mark>流行の再燃も予想されますが、この姿勢を貫き、より一層分野を越えた関係機関と力を合わせ**、「住みつづけたい 草津」**の実践を展開してまいります。

< 目 次 >

- 1.緊急小口等特例貸付業務~暮らしを取り戻す~
- ●令和2年3月25日から令和4年3月31日まで(草津市におけるコロナによる経済的影響世帯総合分析)
- ●令和 2 年 3 月 25 日から令和 4 年 3 月 31 日まで詳細分析(外国籍、各 6 カ月)
- ◆これまでの活動にとらわれず、いまできることに取り組む
- 2.フードバンク拡大事業~品物の配分だけでなく 心を伝える応援活動~
- ●お神酒で応援~コロナ鎮静化を祈願~
- ●市立学校給食センターからの食材を市内福祉施設等へ応援~コロナ禍でも笑顔を取り戻す福祉関係施設~
- ◆with コロナだから実現できたこともある
- 3.「素敵なまごころ便」~ありがとうからありがとうへ~
- ●プロが料理した愛情たっぷりランチボックス~ひとり親家庭で子どもがいる 135 世帯 341 人を応援~
- ●自主防災組織 α米 100 個とフードバンク滋賀チョコレート 100 個
 - ~災害備蓄品寄付・アーモンド植物繊維摂取で免疫アップ~
- ●草津市赤十字奉仕団「愛のこもった炊き込みご飯 672 個」市社協コラボ
 - ~炊き込みご飯で免疫力アップ地域サロン 155 団体応援~
- ●障害者作成年賀状で「つながり」市社協作成脳トレセットで「元気」~高齢者へ「元気」と「笑顔」地域サロンを応援~
- ●CHRISTMASPRESENT お楽しみ まごころ便
 - ~オムロン社員の直筆コメントコラボ企画(企業との連携強化)応援の輪を広げる~
- ●開けてビックリ!!今年度ラストまごころ便
- ◆改めて自分たちの活動の意義を見直し、新たな可能性を模索
- 4. 草津市「つながりサポート事業」~草津市チューリップ事業 生理貧困への取組 48.116 枚配布~
- ●生理用品や食料品の配布を通じた相談窓口や各種サービスにつなげる
- ◆「家にいることが価値」となる今、発想の転換が求められる
- 5.Withコロナで豊かな暮らしを提案
- ●ふくちゃんプロジェクト~多くの人たちの気持ちを広げる新しい取組~
- ●ラストボランティアフェスティバル~16,650 人の参加とボランティア 604 人の集いの歴史~

令和2年3月25日開始~令和4年3月31日

1. 緊急小口等特例貸付業務 ~暮らしを取り戻す~

<会議・調整等>

●令和 2 年

3月19日緊急特例貸付について、市くらしサポートセンターと協議 3月25日貸付申請受付開始、当面 7 月末まで決定、4月13日当初面 談対応から、郵送方式に切り替える

4月27日派遣職員1名、5月11日から1名を増員、当面7月末まで4月30日近畿労働金庫、5月28日から県内郵便局でも緊急小口貸付申請受付開始

6月15日緊急小口資金特例貸付の受付期間の延長、9月末まで決定 6月20日派遣職員2名、9月末まで延長

7月14日総合支援資金特例貸付における3カ月超える延長貸付を決定 7月16日総合支援資金特例貸付における3カ月超える貸付について 市くらしサポートセンターと協議

9月16日特例貸付受付期間の延長、12月末日まで決定

12月17日特例貸付受付期間の延長、令和3年3月末日まで決定

●令和 3 年

2月2日特例貸付受付期間の再延長決定

3月30日特例貸付受付期間の延長、令和3年6月末日まで決定

4月2日総合支援資金特例貸付における市くらしサポートセンターと協議

5月28日特例貸付受付期間の延長、令和3年8月末日まで決定

7月30日特例貸付受付期間の延長、9月以降も現体制維持するよう通知

8月18日特例貸付受付期間の延長、令和3年11月末日まで決定

11月30日緊急小口資金特例貸付の受付期間の延長および措置期間延長、償還免除規定の確定について(緊急小口資金特例貸付期間令和4年3月末まで延長、再貸付令和3年12月末まで)

生活福祉資金 コロナ特例緊急小口資金・総合支援資金

草津市の貸付の現状

令和2年3月25日~令和3年3月31日現在

資金種別	件数	貸付金額	貸付内容
緊急小口資金	1,087	209,690,000	上限 20 万円以内(一人世帯は上限 15 万円以内)
総合支援資金	871	438,790,000	上限 20 万円(一人世帯は上限 15 万円以内)×3 カ月
増額	5	1,000,000	当初上限までいかなかった世帯の追加
延長	431	221,840,000	上限 20 万円(一人世帯は上限 15 万円以内)×3 カ月
延長増額	1	200,000	延長上限までいかなかった世帯の追加
再貸付	358	185,730,000	上限 20 万円(一人世帯は上限 15 万円以内)×3 カ月
受付合計数	2,753	1,057,250,000	

令和 2 年 3 月 25 日~令和 4 年 3 月 31 日現在

(延長は令和3年6月、再貸付は令和3年12月まで)

※市社協を通さない申請があるため、以下の統計と若干件数の相違あり

資金種別	件数	貸付金額	貸付内容
緊急小口資金	1,596	308,780,000	上限 20 万円以内(一人世帯は上限 15 万円以内)
総合支援資金	1,381	708,650,000	上限 20 万円(一人世帯は上限 15 万円以内)×3 カ月
延長	546	281,390,000	上限 20 万円(一人世帯は上限 15 万円以内)×3 カ月
再貸付	885	456,350,000	上限 20 万円(一人世帯は上限 15 万円以内)×3 カ月
受付合計数	4,408	1,755,170,000	

特例貸付とは、新型コロナウイルスの影響により、生計維持が困難となった世帯に貸付を行います。

〇特例小口資金

上限20万円以内(一人世帯は、上限15万円以内)据え置き期間1年以内 償還2年以内 無利子

○特例総合資金

上限月20万円(一人世帯は、上限15万円以内) ×3か月据え置き期間1年以内 償還10年以内 無利子

〇総合資金延長

上限月20万円(一人世帯は、上限15万円以内)×3か月据え置き期間1年以内 償還10年以内 無利子

〇総合資金再貸付

上限月20万円(一人世帯は、上限15万円以内)×3か月据え置き期間1年以内 償還10年以内 無利子

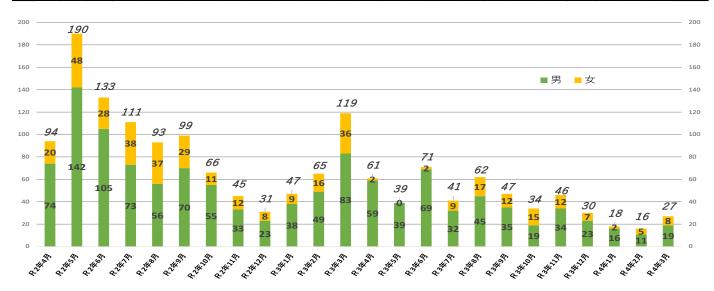
※延長関係の場合、自立相談支援機関(草津市役所人と

くらしのサポートセンター)へ相談

1) 草津市におけるコロナ感染症による経済的影響世帯総合分析 (令和2年3月25日から令和4年3月31日まで)

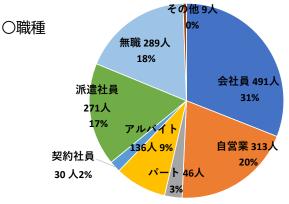
<緊急小口資金貸付月別件数>

	令和2年	令和3年	令和4年	令和4年	令和4年	総計																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	₩ûĀ
男	7 4	142	105	73	5 6	70	5 5	33	23	38	4 9	83	5 9	3 9	6 9	3 2	4 5	3 5	19	3 4	23	16	11	19	1202
女	2 0	4 8	28	38	37	2 9	11	12	8	9	16	3 6	2	0	2	9	17	12	15	12	7	2	5	8	383
合計	9 4	190	133	111	93	9 9	6 6	4 5	31	47	6 5	119	61	3 9	71	4 1	6 2	47	3 4	4 6	30	18	16	27	1585



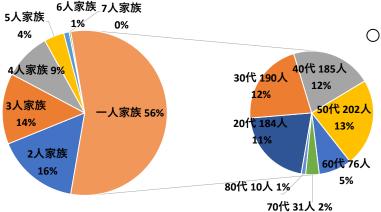
○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	227	39	57	64	44	15	5	3
志津南	31	1	5	14	8	1	1	1
草津	208	43	53	38	37	25	10	1
大路	99	12	18	25	34	8	2	0
渋川	78	16	15	16	21	5	5	0
矢倉	96	18	24	20	21	10	2	1
老上	41	7	7	12	8	5	1	1
老上西	118	12	28	29	27	17	4	1
玉川	147	36	29	43	30	4	5	0
南笠東	130	25	34	33	24	11	3	0
山田	131	21	19	31	29	20	7	4
笠縫	92	17	18	28	18	8	3	0
笠縫東	152	29	33	32	37	10	8	3
常盤	35	5	5	7	8	10	0	0
合計	1585	281	345	392	346	149	56	15

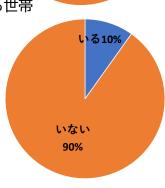






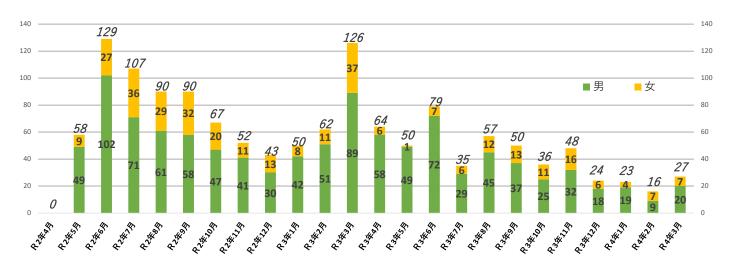


○小学生以下がいる世帯



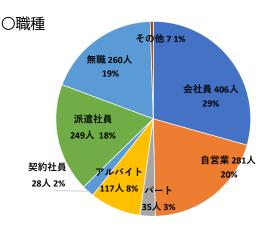
<<mark>総合支援資金貸付</mark>月別件数>

	令和2年	令和3年	令和4年	令和4年	令和4年	総計																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ř6ři
男		4 9	102	7 1	61	5 8	47	4 1	3 0	4 2	51	8 9	5 8	4 9	7 2	2 9	4 5	37	2 5	3 2	18	19	9	20	1054
女		9	27	3 6	2 9	3 2	20	11	13	8	11	3 7	6	1	7	6	12	13	11	16	6	4	7	7	3 2 9
合計	0	58	129	107	90	9 0	67	5 2	4 3	50	62	126	6 4	5 0	7 9	3 5	5 7	50	36	4 8	2 4	23	16	27	1383



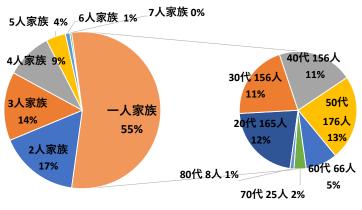
○貸付者学区・年齢別貸付件数

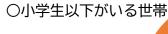
O A I	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	193	34	48	51	40	13	5	2
志津南	31	1	5	14	8	1	1	1
草津	180	38	44	32	33	22	10	1
大路	80	12	14	21	27	4	2	0
渋川	70	16	14	15	19	3	3	0
矢倉	86	16	21	20	16	10	2	1
老上	36	7	4	11	8	4	1	1
老上西	103	14	22	22	26	14	4	1
玉川	122	30	25	34	26	4	3	0
南笠東	111	22	29	28	20	11	1	0
山田	120	18	18	25	29	20	6	4
笠縫	84	17	18	25	16	6	2	0
笠縫東	137	32	30	28	30	9	6	2
常盤	30	4	6	6	7	7	0	0
合計	1383	261	298	332	305	128	46	13

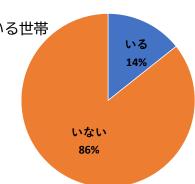




○家族数



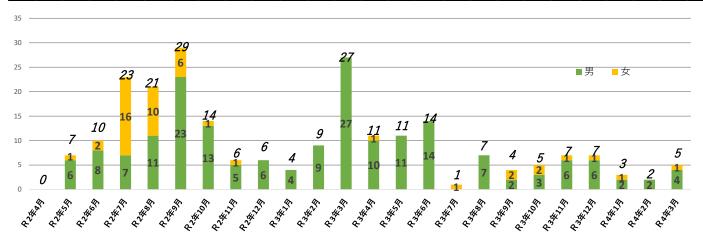




2) 草津市におけるコロナ感染症による経済的影響世帯外国籍総合分析 (令和2年3月25日から令和4年3月31日まで)

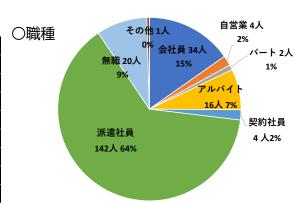
<<mark>緊急小口資金貸付</mark>月別件数>

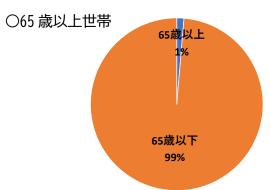
	令和2年	令和3年	令和4年	令和4年	令和4年	総計																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	řěři
男		5	7	7	11	23	13	5	6	4	9	27	10	11	14	0	7	2	3	6	6	2	2	4	184
女		1	2	8	10	6	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2	1	1	1	0	1	39
合計	0	6	9	15	21	29	14	6	6	4	9	27	11	11	14	1	7	4	5	7	7	3	2	5	223



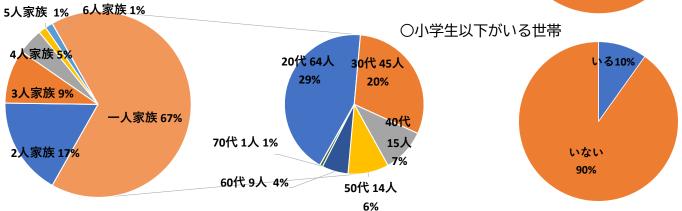
○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	3 2	7	1 3	7	1	4	0	0
志津南	2	0	1	1	0	0	0	0
草津	4 3	2 0	1 6	4	2	1	0	0
大路	1 4	3	1	3	5	2	0	0
渋川	9	3	1	2	2	1	0	0
矢倉	2 5	1 3	6	1	4	1	0	0
老上	4	1	2	1	0	0	0	0
老上西	1 2	1	8	0	2	1	0	0
玉川	2 1	1 1	5	1	4	0	0	0
南笠東	1 3	7	4	2	0	0	0	0
山田	6	1	2	2	1	0	0	0
笠縫	1 0	1	2	5	0	2	0	0
笠縫東	3 1	1 2	9	4	4	1	1	0
常盤	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	2 2 3	8 1	7 0	3 3	2 5	1 3	1	0



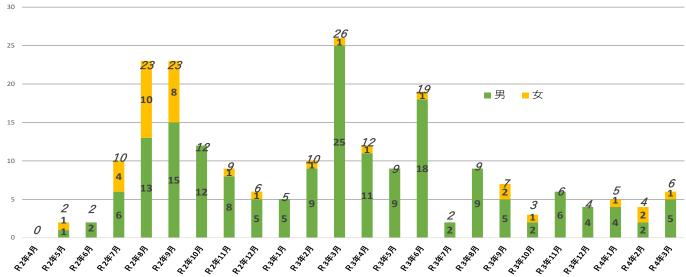


○家族数



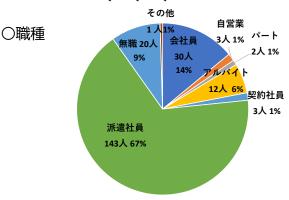
<総合支援資金貸付月別件数>

	令和2年	令和3年	令和4年	令和4年	令和4年	総計																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
男		1	2	6	13	15	12	8	5	5	9	2 5	11	9	18	2	9	5	2	6	4	4	2	5	178
女		1	0	4	10	8	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	2	1	0	0	1	2	1	36
合計	0	2	2	10	23	23	12	9	6	5	10	26	12	9	19	2	9	7	3	6	4	5	4	6	214



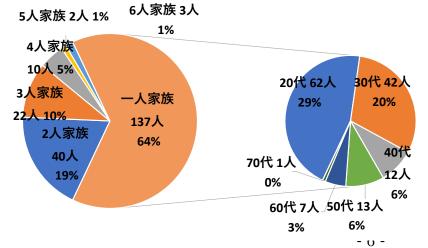
○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	3 1	8	1 2	6	1	4	0	0
志津南	2	0	1	1	0	0	0	0
草津	4 2	2 0	1 5	4	2	1	0	0
大路	11	3	1	3	4	0	0	0
渋川	9	3	1	2	2	1	0	0
矢倉	2 3	1 2	7	0	3	1	0	0
老上	4	1	2	1	0	0	0	0
老上西	1 4	2	8	0	3	1	0	0
玉川	1 9	11	4	1	3	0	0	0
南笠東	1 2	7	3	2	0	0	0	0
山田	4	0	2	1	1	0	0	0
笠縫	1 0	1	3	4	0	2	0	0
笠縫東	3 2	1 3	1 0	3	4	1	1	0
常盤	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	214	8 2	6 9	2 8	2 3	11	1	0

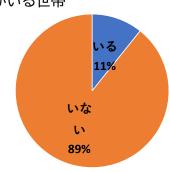




○家族数

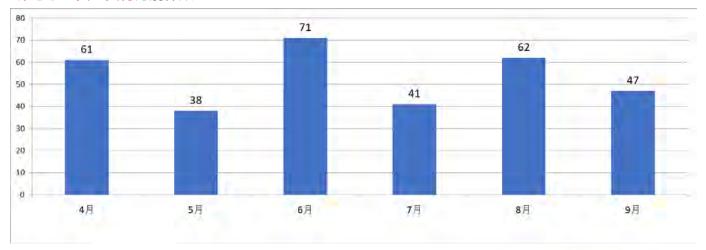


○小学生以下がいる世帯



3)令和3年度6カ月分析(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

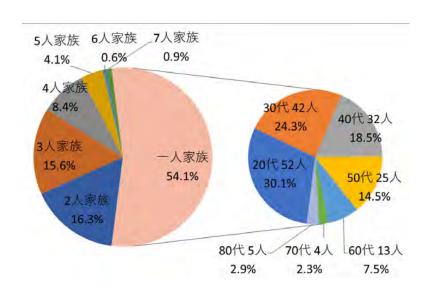
<<mark>緊急小口資金貸付</mark>月別件数>

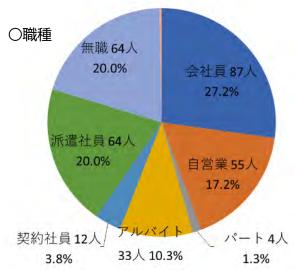


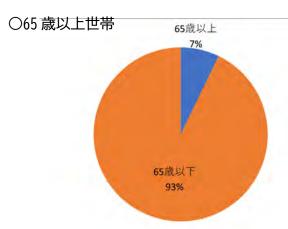
○貸付者学区・年齢別貸付件数

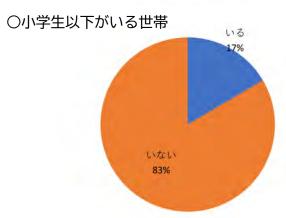
	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	3 6	1 0	1 0	9	3	2	1	1
志津南	7	0	1	4	2	0	0	0
草津	4 6	1 2	1 3	8	8	4	1	0
大路	18	3	7	3	3	1	1	0
渋川	1 9	5	3	4	6	0	1	0
矢倉	27	7	4	5	6	4	0	1
老上	8	2	1	2	1	2	0	0
老上西	1 3	0	6	1	4	2	0	0
玉川	2 9	7	7	8	5	1	1	0
南笠東	3 5	6	1 0	9	4	3	3	0
山田	2 7	8	2	7	4	4	1	1
笠縫	1 2	2	1	5	1	2	1	0
笠縫東	3 5	8	7	9	7	1	1	2
常盤	8	1	2	1	1	3	0	0
合計	3 2 0	7 1	7 4	7 5	5 5	2 9	1 1	5

○家族数

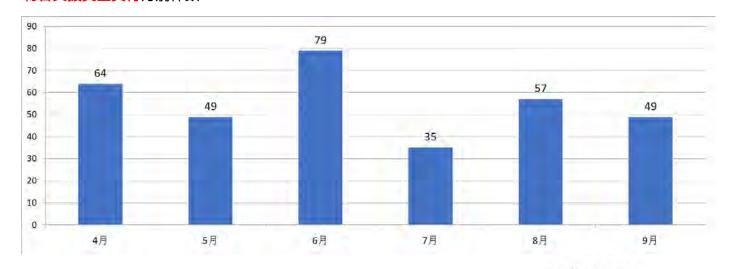






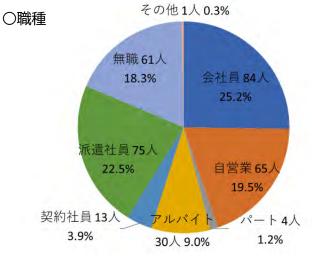


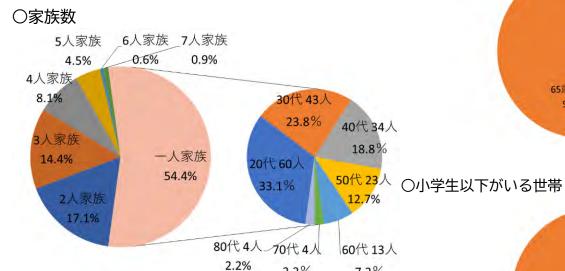
<総合支援資金貸付月別件数>

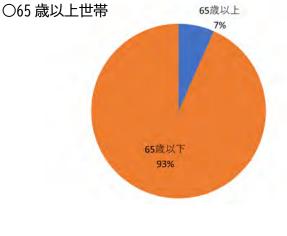


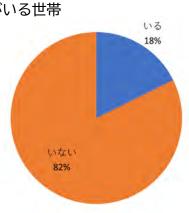
○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	3 7	1 0	1 0	8	5	2	1	1
志津南	8	0	2	4	2	0	0	0
草津	4 8	1 2	1 5	7	8	4	2	0
大路	18	4	5	4	3	1	1	0
渋川	17	6	2	3	5	0	1	0
矢倉	2 1	6	5	4	4	1	0	1
老上	7	2	1	2	1	1	0	0
老上西	1 5	3	5	1	3	3	0	0
玉川	3 6	7	9	1 1	5	2	2	0
南笠東	3 2	8	8	1 0	3	3	0	0
山田	3 0	9	2	6	4	6	2	1
笠縫	1 3	5	2	5	1	0	0	0
笠縫東	4 1	9	1 0	1 0	8	2	1	1
常盤	1 0	2	3	1	1	3	0	0
合計	3 3 3	8 3	7 9	7 6	5 3	2 8	1 0	4







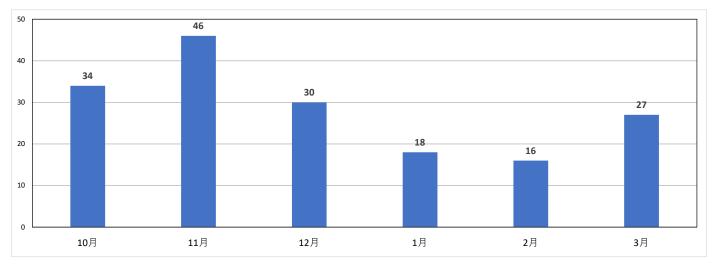


7.2%

2.2%

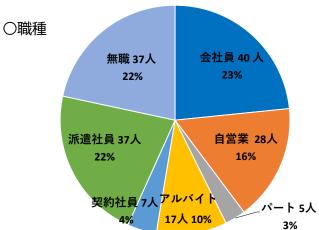
4) 令和3年度6カ月分析(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

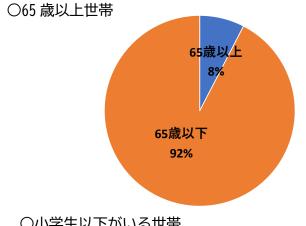
<緊急小口資金貸付月別件数>



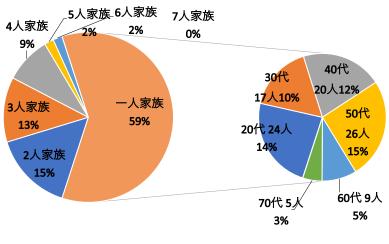
○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	19	5	5	4	3	1	1	0
志津南	3	1	0	2	0	0	0	0
草津	2 8	9	6	4	5	3	1	0
大路	7	2	1	3	1	0	0	0
渋川	7	1	1	3	2	0	0	0
矢倉	11	4	3	3	0	1	0	0
老上	6	1	0	3	1	1	0	0
老上西	1 4	2	3	1	4	2	2	0
玉川	11	3	2	2	4	0	0	0
南笠東	1 4	6	3	1	2	2	0	0
山田	1 5	3	0	2	5	4	0	1
笠縫	1 6	4	3	5	2	1	1	0
笠縫東	2 2	4	7	5	4	1	1	0
常盤	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	174	4 5	3 4	3 8	3 4	1 6	6	1



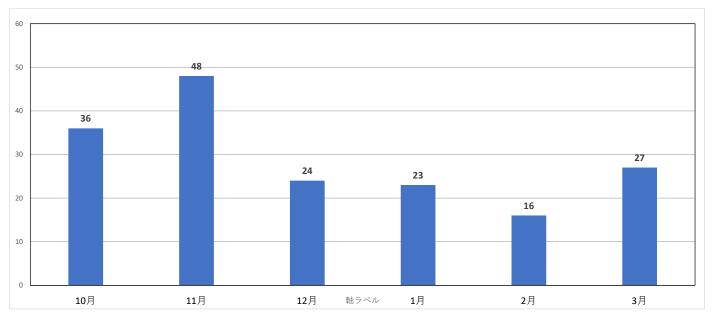


○家族数





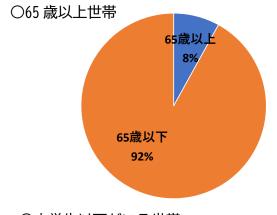
<<mark>緊急総合支援資金貸付</mark>月別件数>



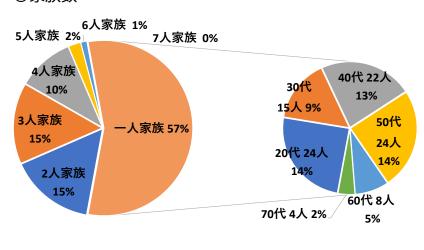
○貸付者学区・年齢別貸付件数

	件数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
志津	19	5	5	4	3	1	1	0
志津南	3	1	0	2	0	0	0	0
草津	2 8	9	6	4	5	3	1	0
大路	7	2	1	3	1	0	0	0
渋川	7	1	1	3	2	0	0	0
矢倉	11	4	3	3	0	1	0	0
老上	6	1	0	3	1	1	0	0
老上西	1 4	2	3	1	4	2	2	0
玉川	11	3	2	2	4	0	0	0
南笠東	1 4	6	3	1	2	2	0	0
山田	1 5	3	0	2	5	4	0	1
笠縫	1 6	4	3	5	2	1	1	0
笠縫東	2 2	4	7	5	4	1	1	0
常盤	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	174	4 5	3 4	3 8	3 4	1 6	6	1

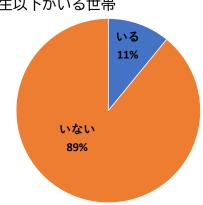
○職種 その他 1 1% 会社員 40人 無職 40人 23% 23% 自営業 26人 派遣社員 15% 39人 22% アルバイト パート 4人 19人 11% 2% 契約社員 5人 3%



○家族数



○小学生以下がいる世帯



2. フードバンク拡大事業 ~品物の配分だけでなく 心を伝える応援活動~

新型コロナウイルス感染症拡大により使用されなくなった食品を寄付していただき、コロナ禍で頑張って活動されている生活困窮者への支援関係 3 団体(フードバンク滋賀・立命館大学地域連携課・多文化共生支援センター)、障害者関係(障害者関係施設・作業所 26、グループホーム 12)、高齢者関係 12 施設(特養)、医療関係 1 施設(ケアセンター)、草津市公設児童育成クラブ 29 団体、学区社協・日赤等 15 団体、子ども食堂 6 団体の 104 関係機関を応援いたしました。

7月29日京都・中日新聞掲載

令和3年7月26日~7月30日

1) お神酒で応援 ~コロナ鎮静化を祈願~ 120本で104福祉関係施設・団体を応援

新型コロナウィルスの影響で小汐井神社に残ったお神酒**120本**を料理酒として応援配分しました。神に捧げられたお酒を「新型コロナウィルス感染症拡大の鎮魂」として活用させていただきました。

○「ありがとう」の感動メッセージを一部紹介

おいにいずカフェ、高齢者サロンにて使用させていた だきます。**高価な物なので大変助かります。**ほんとう に嬉しいです。

(たすけ愛隊 ママの手)

大切に利用させてもらいます。

(笠縫学区社会福祉協議会)

大変励まされます。施設での調理の際活用させてい ただきます。(RUMAH RUMAH)

ゆかい家で提供しているランチに料理酒として活用 させていただきます。地域の皆さまにも**小汐井神社 様の思いが伝わる**と思います。

(草津学区社会福祉協議会)

当学園の対象児童は15~18歳の食べ盛りの年代となります。そのため、少しでも子ども達においしい食事を提供できるよう、調理担当職員を中心に日々頑張っております。料理酒として使わせて頂く事で、さらに料理がおいしくなるのではないかとありがたく思っております。貴神社のますますのご発展と皆さま方のご健勝を心よりお祈り致します。(滋賀県立信楽学園)

お酒の風味を生かした**豊かな料理**の提供ができ、利用者の皆さまも大変喜ばれると思います。 (びわこ学園)

昼食作りに利用させていただきたいと思います。 (シエスタ)

施設での料理に使わせて頂きます。又、**ご近所のお年 寄りの方でご希望される方**に配らせていただきたい と思っております。大切に使わせていただきます。 (フェイス)

施設をご利用くださっているご利用者、ご入居者 の食事提供に使用させていただきます。ありがと うございます。(えんゆうの郷) 調理実習等で活用させて頂きます。

(JALAN)

料理に活用します。ご利用者様の**笑顔がまた一つ増えます!**(むつみ園)

通所施設の利用者の昼食等で使わせていただければ と思っております。(かなえ)

お酒を使用して、施設の利用者の方々においしい料理を提供していきます。ありがとうございました。 (菖蒲の郷)

コロナ禍で飲食店は、お客様の減少で売上の落ち込 みが長引く中、**材料費の削減などいろいろ取り組ん** で**いる今感謝の念**に堪えません。料理酒として有効活 用させていただきます。ありがとうございました。 (きらら) 草津市の**遍照寺で中高生を対象に居場所活動** をしております。子どもたちの為の食堂で調理 の際、料理酒として大切に使わせていただきます。(やんちゃ寺)

職員・利用者一同ありがたく使わせていただきま す。ありがとうございました。

(アイコラボレーション)

皆で使わせていただきます。

(ワークステーション わかたけ)

入居者様に安心安全に心温まる食事を提供できるよう有意義に使わせていただきます。

(第二菖蒲の郷)

2) 市立学校給食センターからの食材を市内福祉関係施設等へ応援 ~コロナ禍でも笑顔を取り戻す福祉関係施設~

新型コロナウイルス感染症拡大につき、臨時休校にともなう廃棄処分となる給食食材の有効活用を図り、不休で頑張っておられる福祉関係施設・団体とランチボックス配布対象者を応援しました。

給食センターは、廃棄食材を減らすためギリギリまで調整し、それでも入荷を止められない食材を市社協へ 寄付していただきました。フードロスを無くし、医療・福祉従事者・利用者の応援として「笑顔で越える福祉関係 施設」を目的に寄付食材をすべて配分しました。

配分総重量

13t 052kg(13,052 kg:品種延べ80 品)

① 第一弾 市内福祉施設等応援配分

福祉関係施設・団体とランチボックス対象者を応援しました。

配分量	·食品5, 932kg	配分月日	4回(8/30、8/31、9/2、9/3)
配分食材 25 種類	・野菜(じゃがいも、たまねぎ、ごぼう、に ・果物(梨) ・肉(鶏もも肉、牛もも肉)	こんじん、なす、	青ねぎ、さといも、かぼちゃ等)
配分対象			者施設 26、グループホーム 12)、高齢者関係
	12 施設(特食)、医療関係 施設(ケア) 6 団体、学区社協 14 団体、ランチボッ:		聿市公設児童育成クラブ 29 団体、子ども食堂







② 第二弹 市内福祉施設等応援配分

市社協から各施設・団体へ「コロナ禍の応援メッセージ」を付けて応援しました。

配分量	・食品2, 577kg	配分月日	4回(9/6、9/7	、9/8、9/10)
配分食材	・野菜(えのきだけ、たまねぎ、ごぼう、に	こんじん、なす、	、青ねぎ、さといも、た	いぼちゃ)
9 種類	・肉(鶏もも肉、牛もも肉、鶏ももミンチ)			
	生活困窮者への支援関係3団体、障害	者関係(障害者	が施設 26、グループ	ホーム 12)、高齢者関係
配分対象	12 施設(特養)、医療関係 1 施設(ケアヤ	センター)、草澤	津市公設児童育成クラ	ラブ 29 団体、子ども食堂
	6 団体へ案内、学区社協 14 団体			

○市社協からの応援メッセージ

コロナ禍で頑張っている福祉関係施設・団体へ

コロナ禍でも、歯を喰いしばって前を向き伴に心を燃やそう。僕たちが足を止めてしまっても時間の流れは止まってくれない。だったら、伴にこの時代を前向きに歩いてみませんか。誰かの善意や思いがあってものになっています。精一杯、前を向き、頑張っていきましょう。草津市社協は、皆さんと伴に歩んでいます。

③ 第三弾 市内福祉施設等応援配分

市社協から各施設・団体へ「コロナ禍の応援メッセージ」を付けて、応援施設・団体からは、「ありがとうメッセージ」をいただきました。

配分量	・食品 1,109k g	配分月日	4回(9/13、9/14、9/15)			
配分食材	・野菜(えのきだけ、たまねぎ、ごぼう、にんじん、なす、青ねぎ、さといも、かぼちゃ)					
9 種類	・肉(鶏もも肉、牛もも肉、鶏ももミンチ)					
	生活困窮者への支援関係 4 団体、障害者関係(障害者施設 26、グループホーム 12)、高齢者関係 12 施設(特養)、医療関係 1 施設(ケアセンター)、草津市公設児童育成クラブ 29 団体、学区社協 14					
配分対象						
	団体、子ども食堂 6 団体へ案内					

〇市社協からの応援メッセージ

福祉関係施設・団体の方々へ

『泣いても笑っても、同じ人生ですからね。「できない」じゃなくて「できたことを喜ぶ」ことが大切 走り出したら、できるところまで行こうかなって走ってる方が生きてるって感じがしませんか?』 パラスポーツ界の、レジェンド中のレジェンドで、ネイルやオシャレも好きで、「バタフライマダム」の愛称を持つ、73歳を迎える大ベテランの別所キミヱ選手(パラ卓球)の言葉です。どんな状況になっても、辛い・悲しいだけでなく、楽しむことを知って前向きに「感謝・ありがとう」を忘れない。私たち「福祉関係職員」の今の現状からも考えさせられる言葉と感じました。どうか、緊急事態宣言中でも少しでも前向きに「感謝・ありがとう」を忘れず頑張って乗り越えていきましょう。



〇市社協からの応援メッセージ

草津市社会福祉協議会は、心から「ありがとう」を伝えたいと思います。

- 1.市民のために少しでも食材のロスを無くそうと夜遅くまで調整していただいている草津市給食センターの 皆様方
- 2.「福祉関係施設・団体等コロナ禍応援配分」の思いを受けとめていただいた 103 の福祉関係施設・団体・ 給食センターの皆様方
- 3.この事業に共感していただき、食材をきっかけに多くの市民へ「幸せ」「笑顔」を創ってくださったすべての 皆様方

私たちは多くの「ありがとう」と「感謝」の声をいただきました。それは、食材より大きなものをいただいたと感じています。

市内の地域での会議で、『他人から何かしてもらったとき、私たちは自然に「ありがとう」と言います。他人からの気遣いに対する感謝の言葉です。「この世で最も不幸な人は感謝の心のない人である」何をしてもらっても、当たり前と思い、感謝の心がなければ、不平不満ばかり出て、幸せを実感することはできない。』と話されていたことを思い出しました。福祉とは、「幸せ」と訳されることがあります。草津市社会福祉協議会は、「この時代への不平不満」より「幸せの実感」を選択し、「感謝とありがとうの輪」を広げ、コロナ禍をすべての人と一緒に乗り越えていきます。本当に「ありがとう」ございます。そして、「感謝」申し上げます。

④ 第四弾 市内福祉施設等応援配分

福祉関係施設・団体へ応援しました。

配分量	·食品 2,240kg	配分月日	3回(9/16、9/17、9/22)
配分食材	・野菜(たまねぎ、もやし、こぼう、さとい	も、さつまい	も)
8 種類	・肉(鶏もも肉、豚もも肉スライス、鶏もも	ら肉ミンチ)	
配分先対象			音施設 26、グループホーム 12)、高齢者関係 津市公設児童育成クラブ 29 団体、学区社協 14

○「ありがとう」の感動メッセージを一部紹介

いつも応援して頂きましてありがとうございます。今日のランチ食材、鶏肉、玉ねぎ、人参、じゃがいも、里芋、もやし全て心温まる寄付食材です。心を込めて調理させていただきました。ご一緒に「ありがとう・いただきます」を申しましょう。

「走っている方が生きているって感じます」

今日もコロナ禍の中で、このような取り組みをして 頂きありがとうございます。子どもの登所人数が少な いため、職員で分けさせて頂きました。この時代のた めに人と触れ合うことも少なくなり、感謝と言う気持 ちを忘れていたように思い、改めて人に感謝する気持 ちを思い出しました。学童がいつも通り開所できるよ うになり、感謝の気持ちを子ども達にも伝えていける ようにがんばります。緊急事態宣言中大変な事もたく さんありますが、職員が笑顔になる取り組みを本当に ありがとうございます。感謝の気持ちを忘れずに1日 でも長く学童を開所できるようにがんばります。

新型コロナウィルス感染拡大という災禍は、ひとり親家庭の不安定な就労が直接的に大打撃を受け、家計を脅かしました。「収入が減った」「食べる物に困っている」「お金がない」などの相談があります。困っている時に学校給食の休止による食材の提供を頂き、3回に渡りひとり親家庭の方々にいただく事が出来まして、心より感謝申し上げます。ありがとう御ざいました。

今回のフードロス削減の取り組みにおいて、美味 しい食材を施設の利用者さんに提供することがで き、また職員分も配分していただいて大変有難かっ たです。利用者さんへは、普段のメニューに入れな いようなさつま揚げ等を作り喜んで頂きました。職 員の声では、「フードロスの野菜が届く日は、どんな 野菜が届くのか楽しみでワクワクした」「いつもは簡 単な野菜料理しかしないけど今回もらった食材で 普段作らないような料理を作り美味しく野菜をた べられた」「椎茸や里芋等大きくて綺麗な食材ばか りで、子どもたちも美味しそうに食べてくれてい た」等嬉しかったという声がたくさんありました。今 回の提供を受け、買い物時は家で使い切れるくらい の必要な分だけを買うように心がけたり、売り場で は手前のものを取るようになったりとフードロスに ついて考えるきっかけになりとても良い機会とな りました。



いつもお世話になりありがとうございます。頂いた食材は、スタッフで分けさせて頂きましたが、一人親家庭の方や、市外の子ども食堂さんへお渡しすることができました。「最近はお野菜も高くなっていて買えなかったので頂けてうれしい」と喜んで頂けました。高齢者デイサービスでは、昼食に使わせて頂きました。コロナで静まり返った昼食時でしたが、ご利用者様の「おいしい!」というほっこり笑顔が見られるひとときが出来、大変感謝しております。

緊急事態宣言の中でも、「前向きに感謝とありがとうを忘れずに」という社会福祉協議会の取り組みにコロナで暗い思いばかりの毎日ですが心から感謝しています。ありがとうございます。今回の食材ご寄付に際して、はじめは量と食材の良さに驚きました。子どもたちが、こんなにいい食材で給食を提供されていることに安心感を覚えました。毎回 FAX が流れてくると、どんな料理ができるのかとスタッフ同士でレシピを交換し、日々バタバタしているスタッフの関係に話題が増え雰囲気も楽しく、次はどんな食材が提供されるのかと厚かましくも期待するようになっていました。そして、沢山の食材を職員間で分け合うことが出来、家計の足しになると大喜びでした。また放課後等デイサービスでは、手作りのおやつを毎日提供することが出来ました。つい先日も野菜嫌いの子がいてジャガイモでスイートポテトを作ったのですが、少しスプーンで口に入れた後舌で味わって一度は拒否されてしまいました。でも「いっぺんたべてみよう!!」と仲間に声をかけられ、仲間が励ましながらスプーンで口に運んでくれたおかげで間食出来たことがあり、お母さんに報告したところとても喜んでおられました。10月からはまた子どもたちが美味しい給食をみんなと一緒に食べられることを願っております。



日頃は、当施設の運営にご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。この度は、寄付食材の声かけいただき有難うございました。 当施設では、職員配分とさせていただき、学校給食で質の高い食材を使用されていることを実際に味わうことが出来、改めて草津市の学校給食を誇りにすることができました。そんな中一番皆のリアクションが良かったのが「もやし」でした。3 kg入りの袋に「枕持ってきたん」と笑われ「今日明日やなっ」と分けて持ち帰り、翌日には多くの職員から「ナムル」「とんぺい焼き」「ラーメン」「豚肉との蒸し鍋」等色んな献立で食べたと話しが弾みました。今回は、本当に有難うございました。感染拡大防止に努め頑張ります。

ホップでは緊急事態宣言発令のため「日替弁当」をテイクアウトのみで営業しています。コロナ禍で売上の減少で経営が難しい中、この度草津市学校給食センター様からの食材のご寄付に感謝申し上げます。日頃は材料費の関係で肉類の分量に制限もあり、特に牛肉などを使うことが出来ません。その上国産で保存料等不使用の食材はとても有難いです。『ホップさん、どないしたん!!牛肉が入ってたで〜宝くじが当たった?』とお客様の声、ボリューム UP にも気付いていただけました。引き続きコロナ感染対策を徹底し、自分や家族の命を守るために必要な行動をしてまいります。



いつもありがとうございます。通所利用者の食事では使う食材や量にも制限があるので、グループホーム等にも配って利用させていただきました。残りは職員へも配布させていただきました。草津市の学校に通うお子さんをお持ちの親さん(お母さん)が職員にも多いので、本音を言えば、「給食をしていただきたかった」のですが、給食に使われる食材を見ることができ、それもいい食材を使われているのが分かったので、親としても安心できるなという声を聞きました。また、家に持ち帰って学校給食の食材を子ども達にも見せられ、それを使って食事することで、自然と給食の話題となりました。これは、このような機会だからこそ経験できたことで、ある意味「食育」につながっているなと感じました。先日いただいたサツマイモで、焼き芋を企画中です。コロナ禍で制限も多いですが、秋の楽しみを企画するきっかけをいただきました。フードロスをなくす取り組みの一環として素晴らしいと思いますし、利用者、職員で協力できてよかったと思います。ありがとうございました。

この度は、食材の提供を頂きましてありが とうございました。とても良質な野菜にびっ くりしました。食材を吟味され、安心・安全な 給食を提供されている幸せな子どもたちの 様子を初めて知ることが出来ました。頂いた ティアの皆さんに配布することが出来まし た。お礼申し上げます。

食材は、地域の高齢者支援に携わったボラン

給食が始まること本当に良かったですね!この期間たくさんの 食材をご寄付頂きまして本当にありがとうございました。ゆかい 家の利用者さん、私たちボランティアも緊急事態宣言の中、下を向 きそうになる気持ちを心あたたまる食材のおかげで豊かな気持 ちになりました。コロナに立ち向かう強い気持ちも頂きました!み んなでがんばりましょう!

少しずつでも子ども達の生活が通常に戻りつつあることを喜ん でおります。今回、さといも、じゃがいも、玉ねぎ、もやしを頂きま した。どの野菜も新鮮で、特にさといも、じゃがいもはホクホクし ていてとても美味しく食しました。学校給食は冷凍物だと思ってい ましたのでこのような美味しいものを調理して食べている草津市 の子ども達は幸せだと職員一同感激いたしました。調理員さんま た配送してくださるドライバーさんに感謝の思いで一杯です。本 当にありがとうございました。

今回、この食材をいただいて本当に助かりまし た。みなさんからいただいた感想です。

素材がいいのでとてもおいしかったです。我が家 の食卓が豊かになりました。じゃがいもがホクホ クで話が盛りあがりました。鶏ミンチのハンバー グおいしかった。大っきいさつまいもを見てみん なで大笑いしたヨ。等々でした。学校給食始まっ てよかったですね。子ども達も栄養いっぱいで元 気に頑張ってほしいです。



いただいた食材の下処理を利用者様の前でパフォーマンスと して披露させて頂く事で「うわぁー立派な野菜」「どんな料理を食 べさせてもらえるんやろぉ」など期待して頂くと同時に、普段と は違ったお料理を提供させて頂くことが出来、大変喜んで頂きま した。ありがとうございました。

毎度ありがとうございます。職員一同、普段よりも賑やかになった食卓を楽しませて頂いています。未だに続くコロナ禍、給食を食べれない学生さんの分も、美味しく食させて頂いてます。感謝!!

色々な野菜、お肉を頂けることで、職員への配分時には「晩ご飯に使えるなぁ」「子供が多いのでたくさんの食材は助かる」など職員間で明るい雰囲気の会話がうまれています。



⑤ 第五弾 市内福祉施設等応援配分

医療・福祉関係施設・団体へ直接応援しました。

配分量	・食品 245k g	配分月日	1回(1/26)				
配分食材 3 種類	・野菜(たまねぎ、白菜、壬生菜、カブ)						
配分先施設	医療・福祉関係1施設(草津ケアセンター)、学区社協 点ゆかい家						

⑥ 第六弾 市内福祉施設等応援配分

特別養護老人ホームへ直接応援しました。

配分量	・食品 170kg	配分月日	1回(1/28)		
配分食材 3 種類	・野菜(きゅうり、じゃがいも、玉ねぎ)				
配分先施設	特別養護老人ホーム		 		



⑦ 第七弾 市内福祉施設等応援配分

特別養護老人ホームへ直接応援しました。

配分量	・食品 220kg	配分月日	1回(2/2)		
配分食材 3 種類	・野菜(だいこん、白	菜、玉ねぎ)			
配分先施設	特別養護老人ホームぽぷら、(社福)寿会常輝の里				

沢山の食材をありがとうございました。利用者さんの毎日の食事に使わせて頂いています。毎日ボリュームがあって、いつものメニューがとっても華やかになり、利用者さんも大満足の様子です。調理担当も大変喜んで、アレやコレやと毎日腕をふるっています。利用者さんが嬉しそうに召し上がられている姿を見られるのは、職員としても、とてもうれしいです。毎日おいしく、楽しく食事ができることに感謝しながら頂いています。本当にありがとうございました。



⑧ 第八弾 市内福祉施設等応援配分

特別養護老人ホーム、障害者施設、グループホームへ応援しました。

配分量	·食品 308kg	配分月日	1回(2/10)		
配分食 9 種類	・カレイ切身 1200 ・みかんゼリー100 ・小魚おかし 1000 ・野菜(白菜・壬生菜 ・りんご	0 個、ぶどうゼリ) 個			
配分先施設	特別養護老人ホームえんゆうの郷、医療・福祉関係 1 施 施設 設(草津ケアセンター)、障害者グループホーム 15 施設・団体				

⑨ 第九弾 市内福祉施設等応援配分

不休で頑張っておられる特別養護老人ホーム、障害者施設、グループホームへ応援しました。

配分量	・食品 251k g	配分月日	1回(2/14)			
	・いわしの開き 2400 切・さばの切身 1560 切					
配分食材 4 種類	・オールポークハンバーグ・がんもどき					
	・大根					
配分先施設	特別養護老人ホームえんゆうの郷、草津ケアセンター、					
自6万元心改	ホームばとん、フェイス					





<フードバンク拡大事業に取り組んで感じたこと>

緊急事態宣言が発令される中、今まで直接的に「つながり」がなかった給食センターと福祉関係施設・ 市社協との関係性ができ、短期間で 15 回の配分を行いお互いの立場を理解するようになりました。

コロナウィルス感染症拡大、緊急事態宣言、不要不急の活動自粛、医療崩壊、地域福祉活動停止、誹謗中傷等、暗い影を落とし込んだこの時期に「新しい地域福祉活動」「市社協でしか出来ないこと」「笑顔と楽しみ」等明るい話題と食材を応援というカタチで考えることができたことは一つの光とも言えると思います。

生鮮食品ということもあり、時間のない中でのフードバンク拡大事業でありましたが、給食センターや 市内の福祉関係施設・団体との理解があり、フードロスを無くすためだけではなく、「コロナ禍において不 休で頑張っている医療・福祉関係者(入所・通所の方や職員)を応援できたことで、今後の「つながり」とし て医療福祉を考える会議(生活支援体制整備事業)等、地域との関係性が深まることを祈っています。

また、プライスレスだったのは、この配分で「食材」での会話が広がり、「こんな立派な食材を草津市は子どものために」「家族の食事の中で明るい話題となったこと」等、市社協が考えていた以上に「食育」「感謝」「家族会話」「笑顔」が取り戻せたことはフードロス以上の価値があったと考えます。

3. 「まごころ便」事業

つながりの連鎖で再構築~ありがとう から ありがとうへ~

新型コロナウイルス感染症拡大の中、頑張って活動されている医療・福祉関係施設・団体等を応援するため企業等から寄付物品等をいただき応援配分しました。対象は、生活困窮者への支援 3 団体(フードバンク滋賀・立命館大学地域連携課・多文化共生支援センター)、歳末たすけあい見舞金配分対象者(希望の一人親家庭)、障害者関係(障害者関係施設・作業所 26、グループホーム 12)、高齢者関係 12 施設(特養)、医療関係 1 施設(ケアセンター)、草津市公設児童育成クラブ 29 団体、学区社協 14 団体・赤十字奉仕団、子ども食堂 6 団体の 105 関係機関等へ応援しました。

8月5日朝日新聞掲載

令和3年3月23日~令和4年3月28日

1)プロが料理した愛情たっぷりランチボックス ~ひとり親家族で子どもがいる 135 世帯 341 人を応援 ~

新型コロナウイルスの感染症拡大により貧困・孤立・孤独が進んでいます。また全国では、子どもの貧困として7人に1人、ひとり親家庭については、約48%が貧困であると考えられています。

そこで、歳末たすけあい見舞金対象である準要保護世帯で「ひとり親家庭で子どもがいる世帯」にランチボックス(チキンのクリーム煮・バターライス、コロッケカレー等)を届けることに賛同していただいた一般社団法人全日本司厨士協会滋賀県本部から寄付を受け応援しました。

〇対象

- ア. 4~5 月は、ひとり親家庭で 15 歳以下の子どもが 2 人以上いる世帯 (令和 2 年度歳末たすけあい見舞金対象者 65 世帯 212 人)
- イ. 6~11 月は、ひとり親家庭で 15 歳以下の子どもがいる世帯 (令和 2 年度歳末たすけあい見舞金対象者 135 世帯 341 人)
- ウ. 12 月は、ひとり親家庭で 15 歳以下の子どもがいる世帯 (過去のランチボックス 1 回以下で令和 3 年度歳末たすけあい見舞金対象者 35 世帯 82 人)
- エ. 12月は、ひとり親家庭で18歳以下の子どもが3人以上いる世帯 (令和3年度歳末たすけあい見舞金対象者14世帯62人)
- オ. 1月~3月は、ひとり親家庭で 18歳以下の子どもが 1人以上いる世帯 (令和 3年度歳末たすけあい見舞金対象者 102世帯 279人)



また文で記す。 また文で記す。 また文では、 のでの175年の 1860年 1860

【ランチボックス配布状況】

【フノナハツンス配布状况】							
	対	対象学区	対象	:者	配布t	世帯	寄付食品
	象		世帯	食	世帯	食	
R3 年	ア	志津・矢倉・大路・渋川・玉川・	9	44	5	26	チキンと野菜のカレー
3/23		山田·笠縫東					サフランライス添え
4/8		志津·矢倉·老上西·常盤	16	53	10	37	ハッシュド・ポークバターライス添え
4/23	1	南笠東·笠縫·笠縫東	15	53	7	28	チキンのクリーム煮バターライス添え
5/13		渋川·草津	17	53	8	30	
5/27		志津南·大路·玉川·老上·山田	16	54	10	45	チキンのストロノガノフバターライス添え
6/8		志津·志津南·矢倉	22	58	10	35	
6/29		草津·老上西·笠縫	24	57	12	43	
7/9		笠縫東	26	70	13	45	コロッケカレーバターライス添え・
7/30		渋川	23	60	12	41	チキンカレー
8/10		大路·山田·常盤	21	53	14	43	
8/30	1	玉川·南笠東·老上	25	60	16	44	チキンストロノガノフバターライス添え
9/13		志津·志津南·矢倉	22	58	12	45	チキンカレーバターライス添え
9/27		草津·老上西·笠縫	24	57	15	45	
10/12		笠縫東	25	68	12	45	コロッケカレーバターライス添え
10/25		渋川	22	57	14	45	
11/8		大路·山田·常盤	18	44	12	45	
11/29		玉川·南笠東·老上	24	57	14	39	
12/20	ウ		35	82	12	36	
12/27	I		14	62	11	41	
R4.1/11		矢倉·渋川·草津	35	94	17	45	
1/31		老上·老上西·玉川·大路·志津·	34	91	16	42	
1,01		志津南		,		. –	84/m23/37.54
2/7		山田·笠縫·笠縫東·	34	94	14	45	おいかとう!ランチボーパー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー
_, ,		南笠東·常盤					275 TOTAL
2/28	オ	矢倉·渋川·草津	35	94	16	45	できた。
3/7		志津·志津南·大路·玉川·老上·	33	91	14	41	\$T:1k
		老上西					37
3/28		南笠東・山田・笠縫・	34	94	13	45	THE RESIDENCE OF THE PARTY OF T
	1	ため 一 当 中 山	1 -		. •	1	製造機能を開発して 10mm の 10mm



○「ありがとう」の感動メッセージを一部紹介

笠縫東·常盤

- ♥美味しくて子どもたちも喜んでいます。 ありがとうございます。
- ♥いつもありがとうございます。おいしいカレーを子どもと感謝していた だきました。皆様のご健康をお祈りしています!
- ♥ランチボックスありがとうございます。 毎月ギリギリの生活の中一食分は、とてもありがたく、とても嬉しく おいしくいただいています。子どもたちも喜んで食べています。とても 感謝しています。
- ♥いつもおいしいランチボックスをありがとうございます。ランチではな く夕食にさせていただき、経済的にとても助かっています!支援をいただき大変心強く感謝でいっぱいです!!これからもよろしくお願いし ます。
- ♥ランチボックス美味しくいただきました。頼る実家もなく子どもと二人 不安な毎日を送っています。そんな時ランチボックスをいただき、福祉 の人の優しさに触れた思いです。ありがとうございます。



2) 自主防災組織: α米100個とフードバンク滋賀: チョコレート100箱 ~災害備蓄品寄付・アーモンドチョコレート植物繊維摂取で免疫アップ~

フードバンク滋賀からいただいたアーモンドチョコレートと町内会の自主防災組織からいただいたα米を頑張って活動されている障害福祉関係施設・団体等にお届けしました。

○配布品 ・草津市社会福祉協議会会長メッセージ (配分先へ各1枚)

・アーモンドチョコレート(1箱88g、100箱)

· a 米 (100 個)

〇配布先

配布先	配布関係施設数
障害者グループホーム	12
障害者施設	26
合計	38



10月26日・11月10日

3)草津市赤十字奉仕団「愛のこもった炊き込みご飯672個」市社協とコラボー ~炊き込みご飯で免疫アップ地域サロン155団体を応援~

草津市赤十字奉仕団と草津市社会福祉協議会がコラボして、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から活動が困難な状況にある高**齢者地域サロンを応援**しました。三密等を避け、地域サロン活動の活動者の前向きな気持ちの応援と参加される高齢者が笑顔になっていただきたいという気持ちで「炊き込みご飯」をつく

り、地域福祉活動の安心と安全を応援しました。

〇対象 高齢者地域サロン 155 サロン

〇配分数

	応援サロン数	個数
10/26(火)	22 サロン	349 個
11/10(水)	14 サロン	323 個
合計	36 サロン	672 個



○「ありがとう」の感動メッセージを一部紹介

いつもお世話になりありがとうございました。 また、この度は、私たちひばりサロンに赤十字奉仕団の方々手作りの「炊き込みご飯」を差し入れていただきました。 体に優しい味付けで、とてもおいしくいただきました。心より厚くお礼申し上げます。~参加者の声より~ティータイムのおやつも全部食べたのに、この炊き込みご飯は美味しくて、 全部いただいてしもうた。今日は夕飯控えんとなぁ(笑) ひとつひとつのかやくの味が生きているね。薄味やのに、どうするとこんなふうな味付けにできるんやろう。私は、ついつい濃い味になってしまうわ。おいしかった。ごちそうさん。準備、大変やったやろうなぁ。おおきに。奉仕団のみなさま。本当にありがとうございました。合掌

暖たかくて美味しい「炊き込みご飯」をありがとうございました。特に一人暮らしをされている方は、とても喜んでおられました。皆さんのそれぞれの気持ちも上がったように思います。とても感謝します。「ごちそう様でした!」

4)障害者作成年賀状で「つながり」市社協作成脳トレセットで「元気」 ~高齢者へ「元気」と「笑顔」地域サロンを応援~

新型コロナウイルスの感染症拡大により障害者の雇用困難な状況の中、作っていただいた**ハガキを「高齢者のつながり」**をつくるためのアイテム(年賀状)として応援しました。また、市社協から緊急事態宣言等で在宅高齢者の認知症予防として「脳トレセット」を地域サロンへお送りしました。高齢者の元気と笑顔を応援します。

〇対象 市内高齢者地域サロン 155 サロン

○内容・ふくちゃんイラスト入り年賀状

・市社協脳トレセット内容(・「脳トレ福祉パズルで GO!」冊子、万華鏡キット、色紙)

応援	年賀状	脳トレ福祉パズルで GO!	万華鏡	色紙
サロン	136 枚	18 冊	48 個	166 枚



12月15日~16日

5) CHRISTMAS PRESENT お楽しみ まごころ便

~オムロン社員の直筆コメントコラボ企画(企業との連携強化)応援の輪を広げる~

新型コロナウイルスの感染症拡大の中でも、「**コロナに負けず」**活動されている施設を「みんなで応援しよう」と市社協が**企業・市民に呼びかけたくさんの寄付物品**をいただきました。寄付もボランティア、それこそが草津市社協の応援「まごころ便」です。

< 全 対 象 >

市内福祉関係施設(高齢者・障害者・子ども)52 施設と地域サロン 18 サロン、キラリエ入居「ココクル♡ひろば」 を応援しました。



今回のまごころ便の特徴

- ① 市内の約 480 社に物品の寄付依頼を実施し、多くの市民・企業の心が集まった物を活動応援に変える。
- ② 企業の労働組合がボランティア体験として袋に手書きのコメント、袋詰め、マスクケースづくり等、心のこもった応援に変えた。
- ③ コロナ禍でのクリスマスプレゼントなので、いろいろな寄付物品を入れ、楽しい袋とした。

《全寄付品一覧表》

宝从四件	宝什物口	₩ F
寄付団体	寄付物品	数
アイコラボレーション	はがき(2 種類)	34 枚
株式会社阪急オアシス	アルコール除菌シート	42個
有限会社管財技研	次亜塩素酸液(消毒·除菌水)	30本
大阪ガス株式会社	画用紙	8 冊
大阪ガス株式会社	折紙(大判)	58 冊
大阪ガス株式会社	折紙(普通サイズ)	10 冊
フードバンク滋賀	除菌シート	180個
市民からの寄付	石鹸	92個
十口細三八	マスク(50枚)	9箱
市民懇話会	子供用不織布マスク(50枚)	20箱
	てづくりマスク(大人用)	114 枚
	てづくりマスク(子ども用)	19 枚
	スヌーピーぬいぐるみ	1個
	トミカ	14 個
市民からの寄付	コットン(300枚)	1箱
	子供用不織布マスク(50枚)	3箱
	不織布マスク(50枚)	4箱
	洗剤(ビーズ)	5箱
	歯磨き粉	10 本
	消毒ジェル	6本
草津介護センター	消毒液	10 本
干/井川茂ピノメー 	マスク(100枚)	12 箱
	手袋・グローブ(100枚)	77箱
オムロン株式会社 草津事業所	ぞうきん	170 枚

※LL 牛乳 480 本 ○「ありがとう」の感動メッセージを一部紹介

この度は「サロン」運営者宛にコロナ対策用品や子ども達の台拭きを頂きましてありがとうございました。コロナで参加人数も限られ、又、厳しいやりくりをしている中、大変うれしく思います。これからも**ガンバって「サロン」を続けたい**と思います。御提供頂いた企業様にお礼申し上げます。ありがとうございました。(南笠東学区「よっといでくらぶ」)

オムロン株式会社 草津事業所 御中このたびは心のこもった贈り物をありがとうございました。大切に使わせていただきます。(特別養護老人ホーム風和里 職員一同)

心あたたまるお品をありがとうございました。**年末の掃除に 早速使用させていただきました**。本年もよろしくお願いします。 (びわこ学園)



「クリスマスまごころ便」協賛いただいた団体の 皆様ありがとうございました。とても嬉しいです。 早速サロンのお楽しみ会で、いただいた品をビン ゴゲームの景品に使わせていただきました。喜ん でいただきました。厚くお礼申し上げます。今後と もよろしくお願いします。(青地ひまわり会)



このたびは手作りのはがきや手ぬいのぞう きんなどたくさんの品物をいただき感謝してお ります。ウィズコロナを今後も意識し仲間と頑 張っていきます。(ベーカリー&カフェ 脇本) 明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。昨年の暮れには、たくさんのプレゼントをご準備いただき、ありがとうございました。コロナで大変な毎日ですが、**メンバー一同元気に前向きにがんばっております。** いただいたプレゼントは、会の活動にしっかりと使わせていただきます。今年もまだまだ油断できない日々が続きますが、皆様からの温かいお気持ちに支えられて、がんばってまいります。本当にありがとうございました♡ (デ・リード草津 ふれあい)



この度は「クリスマスお楽しみまごころ便」にて、貴重な物品を頂き、誠にありがとうございます。ご入居者様のサービス向上のため にありがたく使用させて頂きます。

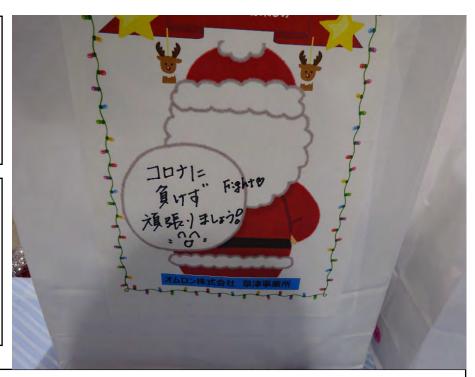
(社福聖優会 特別養護老人ホーム 茜の郷 職員一同)

この度は心の込もった品々をいただきまして、職員一同感謝して おります。誠にありがとうございました。施設のご入居者様や職員と で、大切に使わさせていただきます。みなさまのお気持ちで心も温 まりました。ともに頑張っていきましょう。**みなさまもお身体大切に して下さい。**誠にありがとうございました。

(社福よつば会 特別養護老人ホーム ゆうすいのさと)

皆様方からの真心の贈り物ありが うございます。サロンで大切に使いま す。**貴社のご発展を祈ります。** (岡本西サロン友の会)

クリスマス☆お楽しみまごころ便 JALAN メンバーのもとにも届きまし た!ありがとうございます。お品物は ありがたく大切に使わせていただきま す。メリークリスマス!!(JALAN 一同)



いつもお世話になっております。この度も色々御品を丁戴致しまして、ありがとうございました。高齢者の皆様の ために役立て、**私たちボランティアも一層活動に力を入れたいと思っております。**コロナはスッキリとは収まりませ んが、なんとか工夫しながらやってまいります。これからもよろしくお願い申し上げます。(のんびりの会)

6) 開けてビックリ!! 今年度ラストまごころ便 ~令和3年度ありがとう!35施設を応援~

市内福祉関係施設が、新型コロナウイルスの感染症拡大の中でも、三密等を避け、利用者・入所者のため「コロナに**負けず」**活動されている施設を「みんなで応援しよう」と市社協が**多くの企業・市民に呼びかけ多くの寄付物品**をいただきました。寄付もボランティア、それこそが草津市社協の応援「まごころ便」です。

〇対象 特別養護老人ホーム、障害関係施設・グループホーム、医療関係施設等

○内容 企業・市民等からいただいた食料品

寄付物品	数
米	15 袋
乾麺	98 個
乾物	80 個
缶詰	73 個
瓶詰	13 個
調味料	108 個
油	7個
レトルト食品	82 個
菓子	96 個
飲料	88 箱
ルー類	24 箱
粉類	17個
みかんゼリー	240 個
太刀魚(冷凍)1箱50切れ	16 箱
餃子(冷凍)	6 袋

左記の物品をバラエティパックとして、35 特別養護老人ホーム、障害関係施設・グループホーム、医療関係施設等へ「ラストまごころ便」として応援しました。



フードバンク事業では、缶詰等 **3,386 品・**米約 **1,851 kg**を寄付していただき、地域福祉活動団体・福祉関係施設・グループホーム・貧困者等へ配分しました。

それ以外にコロナ禍での取組として、企業・市民等からいただいた寄付物品を「まごころ便事業」(コロナ禍で頑張っている地域サロン活動、福祉・医療関係施設等への応援)「フードバンク拡大事業」(給食センターからの生鮮食品等の寄付を応援に変える事業)を実施しました。

このコロナ禍を越える「社会を明るくする活動」「笑顔が笑顔を生む活動」を進めていきます。

6月2日滋賀県初市社協スタート

8月号「ガバナンス」掲載

4. 草津市「つながりサポート事業」委託

1)草津市チューリップ事業「生理貧困への取組」 ~48,116 枚 配布~

○草津市「つながりサポート事業」とは



貧困・孤独・孤立により不安を抱える女性が、社会の絆・つながりを回復することができるよう、生理用品や食料品の配布を通じて、対象者を必要な相談窓口や各種サービスにつなげるとともに、民生委員等の地域の支援者につなげていく。また、連携会議や研修会を実施し支援体制の強化を図る。また、実施する上で、施策連携・公民連携・地域連携の3連携を実施して進める。

〇支援体制の強化

窓口での生理用品(委託)ならびに食料品(市社協事業)の配布 <市内窓口配布と食料拠点との連携>

公民連携·施策連携

<キラリエ草津窓口拠点>(生理用品・食料品)

●市社協 (フードバンクセンター) (4F)

(ふれあいハウス絆、立ち寄りカフェゆかい家、志津・南笠東まちセン)

<生理用品配布窓口>(生理用品)

〇男女共同参画センター (5F) 〇人権センター (3F)

<市役所窓口拠点>(生理用品·食料品)

●人とくらしのサポートセンター (フードバンクサテライト) (2F)

<生理用品配布窓口>(生理用品)

〇子ども家庭課 (保2F)

○家庭児童相談室(保3F)

〇健康増進課(2F)

○生活安心課 (1F)○ハローワーク

○商工観光労政課 (4F) ○福複センター

<配布物1回基準>

- ○生理用品セット
 - ・つながりサポート事業チラシ
 - ·相談窓口一覧表
 - ・生理用品 2 セット(24 個入り 2 パック)

○食料品セット

・缶詰 5 個、米 500g、インスタント関連 5 袋を 紙袋に入れる

※フードバンク・緊急食糧支援で用意する。

〇住民への周知・理解

市広報、社協くさつ、SNS 等を活用し、周知を図ります。貧困・孤独・孤立を防ぐために、身近な相談者への周知を図り、理解を広げる研修会として、市民生委員児童委員協議会(市民児協)、学区社協会長会で研修会を実施し、地域の支援体制づくりの醸成を図ります。また、地域と連携し、相談できる場所や、居場所となるような拠点がより身近な地域にできるよう検討し、「助けてと言える風土」をつくります。

○生理用品配布事業等へボランティアの参画と社会的つながり

地域連携

施策連携·公民連携

施策連携·公民連携·地域連携

生理用品や食品等を配布する際に、住民意識の高揚を考え、フードバンク仕分け・配達ボランティア他新たなボランティアを募集し、一緒に考え活動する仲間を増やします。また、貧困から起きる孤立・孤独を防ぐため、社会的つながりをつくるボランティア活動への参画も伝えていきます。

○関係機関との連絡会議と相談体制の整備

下記の 11機関で事業の主旨について共通理解し、取り組みについて協議・連携を図ります。

<市役所>人とくらしのサポートセンター、子ども家庭課、家庭児童相談室、健康増進課、生活安心課、商工観光労政課、生活支援課、<キラリエ> 市社協、男女共同参画センター、人権センター

【配布状況】

令和3年度 生理用品配布枚数 48,116 枚 (3月末現在)

<キラリエ>5 力所

※1 セット 22 個入り×2 パック(1人 44 個)

	社協窓口	社協歳末	社協ランチ	男女共同参画	人権センター	
配布			BOX	センター		
合計	45	83	387	32	15	
	562					

(配布年齢)

10 代以下	20代	30代	40代	50代	60 代以上	不明
225	29	112	154	27	5	0

<市役所>6力所

配布	人とくらしのサ ポートセンター	子ども 家庭課	家庭 相談室	健康 増進課	生活 安心課	商工観光 労政課
合計	32	91	21	14	36	8
	202					

(配布年齢)

10 代以下	20代	30代	40代	50代	60 代以上	不明
16	23	66	75	20	2	0

<関係機関>6 力所

配布	福複 センター	フードバンク 滋賀	ハロー ワーク草津	ふれあい ハウス絆	立ち寄りカフェ ゆかい家	志津 まちセン	南笠東 まちセン
合計	2	93	3	13	9	99	2
	221						

(配布年齢)

10 代以下	20代	30代	40代	50代	60 代以上	不明
43	34	53	55	8	6	19

<**トイレ設置>3 カ所(**トイレへの設置は、単品で設置する。)

	キラリエトイレ	市役所トイレ	フェリエトイレ
配布	1,848	334	300
合計		2,482	

<小·中学校>小学校14校、中学校6校

小学校 1,272 枚配布 中学校 1,022 枚配布

※学校によってバラつきがあります。

【地域での新しい取り組み】

立ち寄りカフェゆかい家(草津学区社会福祉協議会活動拠点)では、「レディー

スカフェ」実施

貧困対策では、生理用品だけでなく、市社協のフードをセットにして、お渡しします。孤立・孤独対策としては、社会参加(ボランティア活動)や各相談機関等の連絡先パンフレットを入れて配布。市社協では、「女性の尊厳を守る」活動して見えない貧困に取組を拡大していきます。

【令和5年度へ向けて】

委託が切れることを考慮し、市社協でできる「生理用品の寄付を広げ、女性の尊厳」を守る活動としてあらゆる活動を広げてまいります。



☆窓口でこのチューリップを指すと生理用品を渡します

※キラリエでの配布年齢は、10 代が多い。これは、市社協歳末・ランチボックスの窓口配布に影響しており歳末では子ども加算、ランチボックスでは子どもを連れて来られることも多いためと考えられる。

※市役所での配布年齢は、 30・40 代が多い。これは窓口と連動しており、子ども家庭課では児童扶養手当対象への配布を丁寧にしていただきその親世代30・40代が来られたと考えられる。



現状を把握し、地域で支え合う仕組みづくり

- Q . 草津市全体で、何人ぐらいを対象と考え、生理用品の購入は何人分みていますか。
- A. 滋賀県の「生理の貧困実態アンケート」3,682人、10代から70歳以上では、4人に1人が貧困と言われています。草津市の8歳から60歳の女性人口は、43,849人ですので、1/4は、10,962人とみていますが、生理用品の購入数は、1,840人分と予備400人分を用意します。配布実績から見て、まずは十分であると判断しているが、状況を見て市民へ寄付のお願いも考えていきます。
- Q . 住民への周知・啓発で、市広報、社協くさつ、SNS 等と書かれていますが、その他の周知・啓発はしますか。
- A . 市社協で、ポスター、チラシを作成しますが、ポスターには、生理用品の配布窓口がわかる小さなカードも用意し、 親にも相談できない子どもたちが持って帰って連絡できるように配慮をしようと考えています。
- Q . 「助けてと言える地域の風土をつくる」とありますが、周知·啓発以外にどのような方法を考えていますか。
- A . 風土づくりは、住民の皆様の心づくりですので、直ぐにできるものでないと考えています。しかし、配布窓口を増やし、いろいろな媒体で啓発し、ボランティアに参画していただきながら、いろいろな地域団体へも学習会等を実施して草津市で困っている人が困ったと言える街にしたいと考えています。
- Q . 孤立·孤独を防ぐにあたり、「社会的つながり」をつくるとありますが具体的に説明をしてください。
- A. 「社会的つながり」とは、ボランティア活動・地域の福祉活動への参画・地域の役割等、社会の中でつながる関係性の構築を言いますが、特にコロナ禍で、より希薄になった人間関係が話題となっています。「社会的孤立」が進むと「感染死」だけではなく「関連死」が増えるとまで言われています。ここで、コロナ禍で仕事がなく「行き場所のない」方々に少しでも、ボランティア活動等に参画していただき「人と人の新しい出会いと関係性」の構築を図りたいと考え、ボランティア情報もお渡しし、声もかけていこうと考えています。
- Q . 相談機関の連携とは?
- A . 相談機関同士の連絡調整、配布・相談状況の確認・分析を実施し、共通認識を持つための連絡会を実施します。 また、各相談所の相談員の連携強化も図り、ワンストップでいろいろな相談ができる体制を整備します。

令和3年4月1日スタート

◆「家にいることが価値」となる今、発想の転換が求められる

5.Withコロナで豊かな暮らしを提案

1)ふくちゃんプロジェクト~在宅でできるボランティア活動~

このプロジェクトは、ふくちゃんグッズを作ることでボランティア活動の活性・活躍の場を広げ、新たなボランティア活動団体等の立ち上げアイテムに活用したいと考えています。そのマスク・マスクケース・いろいろな手作りふくちゃんグッズを広げることにより、新型コロナウイルス感染症対策として、在宅で「楽しさ」と「豊かな暮らし」を少しでも地域福祉活動(ボランティア)を通して感じていただきたいと思っています。

そして、コロナ禍で失われた「つながり・であい・ふれあい」を草津市社協のキャラクターをマスクで啓発することで、地域福祉活動の啓発ができ、「ふくちゃんグッズ」をつけている人たち同士の「ふくちゃんでつながる新しい関係性」「新しい出会い」を構築したいと考えています。また、在宅で楽しめ、少しでも手を動かせ認知症予防になる「ふくちゃん在宅でぬり絵」等を多くの高齢者や子供たちが、楽しく過ごすアイテムとして作成しました。草津市ボランティアセンターでは、「ボランティア 10,000 人」を目指していますが、「ふくちゃんグッズでボランティア」を合言葉に、市民へボランティア活動者への参加を促し、コロナ禍で減りつつあるボランティア活動の活性化に努めました。

【年間ふくちゃんマスク・マスクケース製作数】

	製作数	販売数	市社協 啓発用	残
マスク	882枚	428 枚	271 枚	183 枚
マスクケース	1,186 枚	347枚	334 枚	505 枚

①マスク作成団体

草津市赤十字奉仕団

志津学区ボランティアグループ「ほほえみ会」

ボランティアグループ「ふくちゃん」

協拠点立ち寄りカフェ「ゆかい家」 ボランティア

個人ボランティア

オムロン株式会社

②ボランティア講座等

○ぬいぬい講座(ふくちゃんマスクづくり)

令和3年5月25日10:00~

7人参加

〇おりおり講座(ふくちゃんマスクケースづくり)

令和 3 年 5 月 27 日 10:00~ **10 人参加**





新しいボランティア拡大の取組み

③**ZOOM** で 421 人ボランティア活動

○新しいボランティアの広がり(オムロン労働組合)

コロナ禍で在宅勤務されているオムロン株式会社職員へ労働組合と連携し、 マスクケースづくり、雑巾、「クリスマス☆お楽しみまごころ便」をラッピングする ボランティア活動を zoom で実施しました。725 個のマスクケース等を作成し ていただきました。また、クリアファイルで作成するマスクケースづくりの動画を 作成し、市社協 HP で掲載

〇ふくちゃんグッズ作成ボランティア交流会「和気あい愛交流会」

講座をきっかけに集まったボランティアの「つながり」「仲間意識」をもって いただき、新たなボランティアグループの立ち上げのために実施しました。

令和 3 年 6 月 25 日(金)10:00~ 参加者 10 人



〇市民への「ふくちゃんグッズボランティア」募集

ふくちゃんグッズを作成し、「ふくちゃんファンのつどいで販売しよう。」 を合言葉に、在宅化している期間を利用して家でできるボランティア活動 を展開しました。

<u>約20人 328点</u>



④ふくちゃんファンのつどい

ファンのつどい」でチャリティ販売し、ふくちゃん写真 ニボランティアグループ(VG ふくちゃん、VG フリー

市民に作っていただいた「ふくちゃんグッズ」を「ふくちゃんファンのつどい」でチャリティ販売し、ふくちゃん写真 展やふくちゃん塗り絵を啓発しました。コロナ禍で立ち上がったボランティアグループ(VG ふくちゃん、VG フリー ダム)がイベント協力ボランティアとして協力していただきました。

開催月日 令和 4 年 3 月 18 日(金)13:30~15:30 キラリエ草津 6F

(ラストボランティアフェスティバルと同日開催)

〇協力ボランティア

令和 3 年度に草津市福祉教養大学の卒業生が立ち上げたボランティアグループ「VG ふくちゃん」、「VG フリーダム」が協力

⑤ふくちゃん寄付金募集

ボランティアが作成した募金箱を活用し、「ふくちゃん 応援寄付金」を草津市社協窓口へ設置しました。

令和 4 年度は、キラリエ入居者会議にて置いていた だける職場を選定します。



2)LAST VOLUNTEER FESTIVAL&ふくちゃんファンのつどい

草津市社会福祉協議会が、市役所旧庁舎から青地町へ移転を契機にボランティアの拡大、ボランティア同士のつながりづくり、市民とボランティアの交流の場、多くの市民へボランティアの楽しさやボランティアの入口づくりとして(福祉イベント協力ボランティア)身近に感じられる活動イベントとしてボランティアフェスティバル(VF)を実施してきました。

そして、今までの福祉の枠を越えた他分野とのつながりや中間組織連携・市域を越えた新しいボランティアの広がりも目的に加え、幅広い方々の参画も進めてまいりました。(来場者総数 **16,650 人**、ボランティア参加者数約 **604** 人)そこで第 10 回を迎え、ご協力いただいた方々の「つながり」をもう一度紡ぎ、市社協の応援団や地域福祉活動へご協力していただく「仲間づくり」の構築を目的に実施した。

コロナ禍で、つながりの希薄化、孤立、孤独が広がる中で、市社協が実施していたボランティアフェスティバルが契機になったことを願います。

〇開催月日 令和 4 年 3 月 18 日(金)13:30~15:30 キラリエ草津 6F

〇内容

- ・ウェルカム映像(今までの第1回~7回の VF 映像)30分前からウェルカム生演奏(音楽ボランティア:ドルチェ)
- **・オープニングセレモニー**(バーチャル花火)
- 会長あいさつ
- ・参加者代表でステージショー…コロナ禍地域福祉応援ステージ(堀内圭三さん)
- ・市社協への思いを語るビデオレター(参加者のうち 2 人から市社協への応援メッセージ、ビデオレター)
- ・タイムカプセルオープン、朗読、映像(朗読ボランティア:ブッシュクローバー玉川) 第 4 回 VF のタイムカプセルを開け、参加者へ報告(タイムカプセル:メッセージ 134 枚、写真 7 枚)
- ・タイムカプセルに入れよう(2025年、3 年後のわたし…市社協70周年へ) 参加者で 3 年間つながりあいましょう
- ・音楽で心を一つに(堀内圭三さん)
- ・閉会あいさつ

○参加対象 市長、過去に VF に参画していただいた選抜 40 人~50 人と理事、 評議員 ··· **69 人**

○協力ボランティア…13人(草津市ボランティア連絡協議会)













「まずは、誰かのために何かをしたいという気持ちしの問題に目を向け、心が突き動かされた時には周りの人の意識も変わるのかもしれません。暮ら周りの人の意識も変わるのかもしれません。暮らます。こうして誰かが言い続けてくれることで、 しあわせにする」ために活動される姿に表れていまることは、時として面倒なことかもしれませんが、毎の一人でも多く救いたいという社協の姿勢が、年数やしんどさは関係なく、目の前の困っている人数・は、時として面倒なことかもしれませんが、お返事です。一人ひとりの誰かのために何かをす くれていることで、暮らしを取り戻すことができ される、社協の皆さんや住民の輪の広がりは、誰くる街にするんだという熱い想いを持ち続け奔走みんなが心豊かになり、みんなに幸せが巡って 夢が持てる!」と職員の方を労っておられました。いることに感謝するし、いてくれることが宝物。す。秋吉課長は「社協の職員だちれ言さい。」 ることを、今回教えていただくことができました もって、地域を巻き込みよがら、よい、この想いをあって、地域を巻き込みようよ。そは、一緒に何かしよう。」と言ってくださいました。社協と会議所も、を本気で伝えましょうよ。そして一緒に何かしよを本気で伝えましょうよ コロナ禍に届けた「まごころ便」への高齢者からの えることで色づいた街となる土壌を築いておられ きたらいいねというお話をすることができまし そして、「みんなの暮らしは変えていける。 の暮らしが幸せになる。こと教えていただきました。 を作らなければならない。こうしてみんなの普段 しておられること、 ら変えられると本気で思っている。」とおっしゃ に気づいてあげられる社会、助けてと言える社会 たいと思えること、そして暮らしの中で困った時 最高の未来を作っている。」これが社協の良さであ 「困り事を解決しにいくこということは、すなわち 「嬉しかったです。目の前がパーと輝きました。 職員の方の原動力なのかもしれません。 いるかもしれません。社協が、 地域を巻き込みながら、ぜひ共に何かで 「誰もが優しい心を持ち、誰かを想い助け 社会の基礎である暮らしを支

ばーこれが使命ごという想いが伝わってきます。別らせているものがあるのならば取り除かなけれ動かないと!走らないと!市猩しないと!市民を人に寄り添い続けたい二こういう時こそ、社協は

「コロナウィルス(100年に1度の危機)とボランティア」

総務省が発表している「令和 3 年度版高齢社会白書」で「新型コロナウィルス感染症拡大によりボランティア活動への参加が減少」という調査報告があり、「活動をやめた」「活動日数や時間の減少」が、アメリカ 67.4%と最も高く、スウェーデン 53.3%、ドイツ 30.1%、日本 21.7%と記載されました。

草津市でもボランティア活動が停止・中止といった団体が増えていく中、ボランティア人口は **168 人も減少**しています。

しかし、一方で地域の暮らしの問題は複雑・多岐にわたり、人とひととの希薄化やコロナ禍に伴う「貧困・孤立・ 孤独」が広がっています。

私たちは、「100年に1度の危機」だけではなく、少子高齢化・財政崩壊・地球温暖化に伴う災害等の様々な問題に立ち向かっていかなければならないと考えます。

草津市社会福祉協議会は、地域福祉活動を継続しながら、様々な暮らしの問題について変化を恐れず「解決する 社会づくり」を展開します。

「生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最もよく適応したものである。」ダーウィン(英国の自然科学者、『種の起源』著者 / 1809~1882)